



佐々木大三郎 議員
(市民クラブ)

一問一答方式

遠野ふるさと公社 累積赤字過去最大

問……………

経営改革3カ年計画を掲げて取り組んだ中で、平成29年度823万円の赤字。累積赤字過去最大4010万円の原因は。

問……………

「結いの市」は、開業以来12年間赤字、売り上げも頭打ち状態で累積赤字8600万円に達する。農家生産者も交えて採算性と貢献性について検証と協議が必要では。

答(市長)……………

経営改革3カ年計画を着実に実行していくにあたり人口減少や観光客が減ってきていることなど、様々な要因が重なり合ったことに

答(市長)……………

生産者60人の中には若手も多く、年間売り上げ5000万円超に

達しており販路拡大と農業振興の観点から重要。また、遠野への観光客は、その6〜7割が40万人を擁する盛岡商圏なので、アンテナショップと情報発信基地としての有効性を見極めたい。

馬事振興の現状を確認

問……………

「馬事振興ビジョン」は平成29年度で最終年度となっているが、その総括は。

問……………

人材育成が大きな課題

馬事振興の課題であ

答(市長)……………

馬事振興ビジョンの現状と、今後のあるべき方向性をしっかりと見極めて進めたい。

問……………

馬つこまつりの復活はないか。

答(市長)……………

畜産振興公社は観光推進協議会の構成メンバーであり、馬つこまつりをイベントにするか、観光資源にするか検討したい。



高校生と馬とのふれあい

都市計画事業について問う

問……………

稲荷下第二地区土地区画整理事業の効果は。

答(市長)……………

見直しも含め地権者と共に考えながら18年の月日を経て遠野の活性化に大きな役割を残した。道路、公園、上下水道及び良好な宅地を整備する事が出来た。交通の利便性も向上し、建築工事においては約7割を市内業者

問……………

今後の土地区画整理事業等の計画は。

答(市長)……………

今後の区画整理事業の予定は無い。現在の状況では未整備箇所の整備を進めるのは難しい状況であり、住民説明会を開きながら道

問……………

都市計画区域内の市道の現状認識は。

答(市長)……………

1級市道の改良率は約95%、2級市道の改良率は約83%であり、市道も含めた道路改良事業は「生活に身近な道づくり事業第5期計画」により実施している。

問……………

空き家対策の状況は。

答(市長)……………

平成27年10月に副市長を本部長とする空家

空き家対策の進行状況は

等対策本部を立ち上げ、市内部の関係課による庁内連携体制を整えた。平成28年には空き家の実態調査と意識意図調査を実施した。平成29年には、学識経験者等で構成する協議会を設立し、空家等対策計画の策定に向け協議を進め今年度中に策定及び公表を予定している。



宮田 勝美 議員
(無党派)

一問一答方式



稲荷下第二地区土地区画整理事業
(公園、道路、小学校まで続く歩行者専用道路)